

2-4. 土壌動物調査

2-4-1. 調査方法及び解析方法

第1回調査と第2回調査における調査地点の位置図をそれぞれ図 2-4-1①～図 2-4-1②と図 2-4-2①～図 2-4-2③に示した。なお第2回調査における土壌動物調査の調査地点は、土壌調査地点と同じ地点であった。

第1回調査及び第2回調査の調査内容の詳細を表 2-4-1 に示した。

第1回調査では、N-1 地域で2地点（植生はアカマツ-常緑広葉樹林と草地で、1地点はN-1 地域の外の地点であった。）、N-2 地域で1地点（常緑広葉樹林）、N-3 地域で2地点（落葉広葉樹灌木林、ヒノキ壮齢人工林）、あわせて5地点で調査を行い、それぞれの地点ごとに2プロットを設定した。第2回調査では、それぞれの重点モニタリング調査地域で1地点ずつ、あわせて3地点で調査を行い、それぞれの地点で3サンプルを採集した。なおこれらの調査地点のうち、第1回調査の地点Aが第2回調査の地点1（N-1 地域、アカマツ-常緑広葉樹林）、同じく地点 E が地点2（N-2 地域、常緑広葉樹林）、地点 D が地点3（N-3 地域、ヒノキ壮齢人工林）に近接する地点であった。

また、第1回調査は冬季の2月に行われたが、第2回調査は秋季の10月に行われた。

このように、調査地点やサンプル数の差、調査時期の違いなどから、第1回調査と第2回調査の結果を比較するのは困難であるが、近接すると考えられる調査地点の結果については比較を試みた。解析ではまず、第2回土壌動物調査の結果を調査要綱に指示された評点により計算し、第1回調査結果との比較により、環境の変化についての考察を試みた。

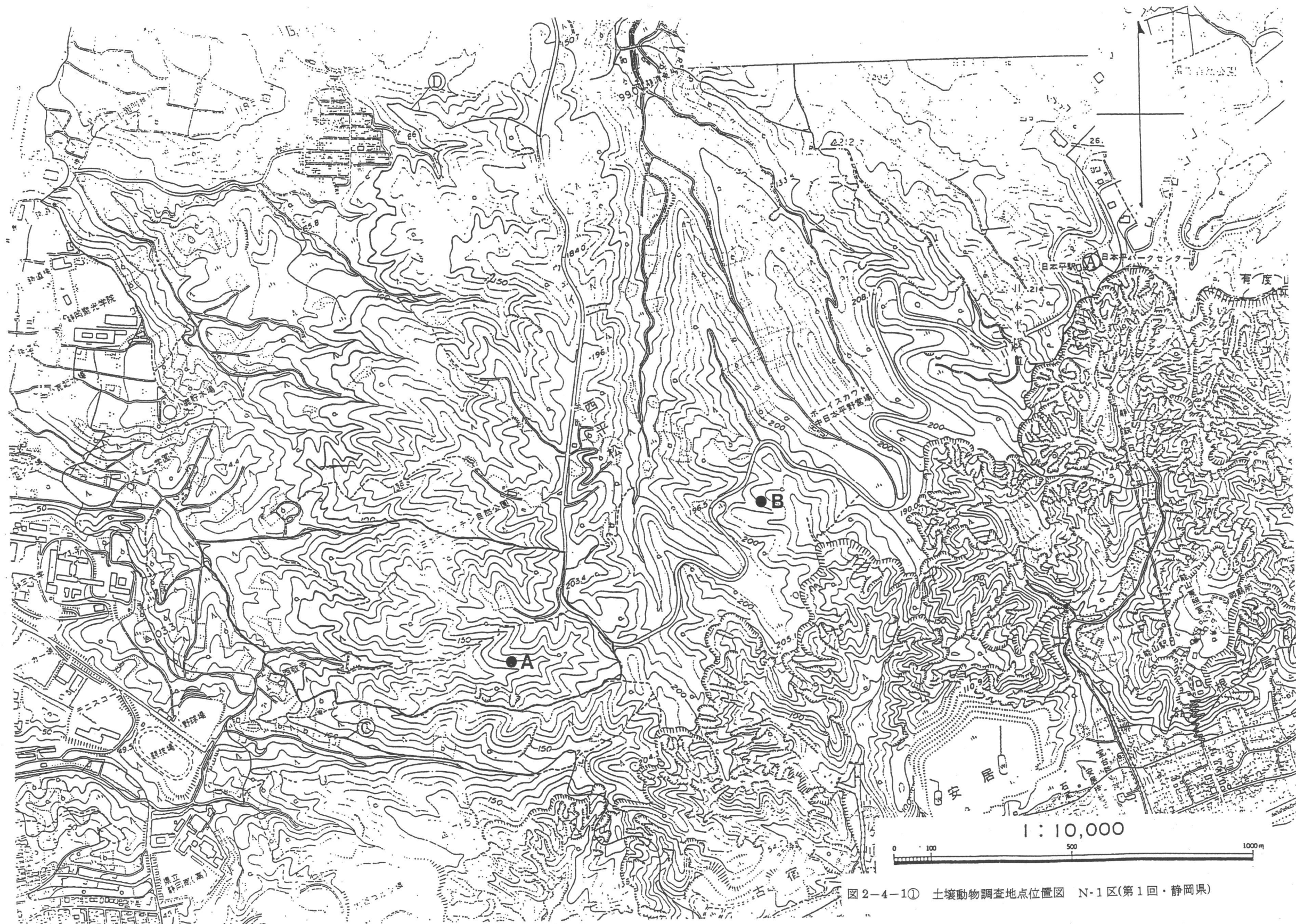


図2-4-1① 土壌動物調査地点位置図 N-1区(第1回・静岡県)